



永平寺町

議会だより

第34号

平成26年5月2日 発行

がんばる団体

地域ふれあい支援
「かさじぞう」

(※ 最終ページに紹介記事)



コミュニティバスの運行 ②ページ

幼稚園の課題解決に向けて ②～③ページ

そこが聞きたい! (議員14人が一般質問) ⑪ページ

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

幼稚園の課題解決に向けて

一部民営化を
一つの案として



3月議会では、幼稚園に関する一般質問が多く出ました。新聞紙上で町長のインタビュー記事が発端です。町長の答弁は「全ての園の民営化は考えていない。行財政改革の視点ではなく、正職員の比率が低いことや、保護者のニーズ（長時間保育、土日保育、特色ある保育園）等の課題解決に向け、一部民営化を一つの案として考えておかなければならない」ということでした。今後、議会をはじめ、保護者、地域の声を十分に聞いていきたいとしています。決して民営化ありきではないということも力説されています。

それにしても福井市、坂井市、勝山市では相当民営化が進んでい

て、町の財政的にも助かるからというのが一つの潮流という方もいます。住民の間にも10の園のうち1つ程度モデルとして民営化してみてもという意見もあります。公立か民間か選べることで豊かな社会であるということです。

一方、待機児童が0の永平寺町は民営化の必要性がそもそもないのではないかと、また、民営化の弱点は営利主義におちいりやすく、安全面やサービス面でも不安が残ります。大きな市では可能なことでも、小さな町では無理だろう…と、色々あります。

いずれにしても多くのデータや情報を駆使して、最適な解を目指すのが政治の醍醐味であり、目標でもあります。住民の皆さんも色々教えてください。お願いします。

(松川 記)

町民総参加の

「まちづくり」へ



永平寺町議会議長
伊藤 博夫

新緑の候、町民の皆様におかれましては、日頃より、議会運営・議会活動に関心をお持ちいただき心から感謝申し上げます。

一昨年の8月に「議会基本条例」が制定され、町民への周知徹底を図るため、インターネットを活用しホームページやフェイスブックにより議会内の情報を瞬時に広報し、また、「議会と語ろう会」においても町民へのご意見をいただくためのテーマを特集して「議会だより」に記載し会場にて質問・要望を受け、その回答を広報紙や関係機関でご報告してきたところであります。

我々議員の任期も7月までとなり「議会と語ろう会」は、4月23・24・25日に開催をいたしました。

このことについては、議会内で議論、審議し、意見として行政に進言してまいります。

今後、議会といたしましては、年2回開催されます「議会と語ろう会」には是非ご参加いただき、新町長が願っております、町民のご意見、ご要望が、議会、理事者へと繋がり町民総参加の「まちづくり」になりますよう多くの町民のご参加を心から願っております。

最後になりますが、改選後の議会に対しても皆様のなご一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



コミュニティバスの 運行どうして

本町のコミュニティバスは、町民を対象に、外出機会の増加と社会参加の促進を図ることを目的に、役場や学校、老人センター等公共施設や町内医療機関や商店街等を利用するための交通手段および交通空白地域の解消として運行しています。公共交通機関である路線バスやえちぜん鉄道を基幹線とし、その枝線として、松岡地区・永平寺地区・上志比地区の三地区それぞれで区内を運行し、町民の皆様からの要望があれば、変更可能な限り対応するとしています。運行に必要な経費として、年間4千万円

(※経費削減を図るため、運行業者と3年契約) ほど掛かっています。

議会においても、平成27年度から始まる新たな運行について、運行経費の削減を含めたより町民のニーズに応えたルートや、運行時刻の見直しを町に対し検討するよう要請しています。主要要請内容として、特に町内二円を運行するルートができないか、経費削減としてオンデマンド方式の導入などがあります。

町内二円を運行するルートについては、路線バスや鉄道との利用者の奪い合いなどで会社経営を圧迫するため、路線バス会社や鉄道会社からの理解が得られないこと、また、国からの運行許可も難しくなるなど課題も多いのが現状です。

今後、平成27年度運行形態の決定を前に、町には広く町民の意見等を収集して、町民のニーズに応えたコミュニティバスになることを期待したいです。

(長谷川 記)

経常的、継続的な骨格予算

平成26年度当初予算
一般会計

78億4790万円

3月17日、同委員会に付託された平成25年度版会計補正予算、特別会計補正予算5件、平成26年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算7件について、去る3月24日、25日の2日間にわたり審議しました。

25年度3月補正予算(1345万円追加)では、年度末で収支や各種事業の進捗状況などについて審議しました。

また、26年度当初予算は、2月に町長選挙が行われたことから、人件費や社会保障費などを中心とした経済的並びに継続事業についての予算化となりました。

主な意見では、「骨格予算であるにもかかわらず、78億4千万円と大きくなり、政策的経費が少ない。さらなる事業の見直しや物件費の節減と財政改革が必要である」「コミュニティバスは、利用者の声を聞き改善することで利用増を目指すように」「地域包括支援センターを中心とした高齢者対策を行政が主導的な立場で民間事業者と協力し合う形を作るように」「放課後児童クラブでは、子どもたちの安全を最優先にし、学校近くに設置するように」などがありました。

提案されたすべての議案について、原案のとおり可決しました。

26年度一般会計予算

総括 機構改革の考えを示せ。6月までには改革案を示すが、4月から一部課長の兼務発令を行う。

問 社会教育の充実のため、人や財源の確保を。計画をしっかり練りながら、公民館中心に考えていきたい。

総務課 コミュニティバスの改善を。地区横断するルート設定を。アンケートや利用者の実態を把握し、公共交通会議で検討していきたい。

問 職員の研修内容は。県の自治研修所や県外の専門機関での研修を計画している。

問 職員の健康診断の統計的なものを示してほしい。産業医による相談窓口を設置している。件数などの統計的なものは示して

企画財政課 合併特例債を基金に積み立てる計画はいつからか。27年度から3年間、計9億円を予定している。

問 ふるさと創生プロジェクト事業の内容は。目的は地域の資源を発掘し、全国に誇れるものに。当初、織物会館、祭、山車、古墳などを計画に入れたが、織物会館改修は見直すこととなった。

問 政策的予算の財源はあるのか。財政調整基金、前年度繰越金、合併特例債などを考えている。

問 永平寺口駅周辺施設のランニングコストは。新駅舎トイレは4月から、レンガ館旧駅舎等は9月から、他の施設を参考に88万円程度と見込む。

消防 AEDの普及、受講者はどれくらいに。医大の協力を得、300人が受講した。また、公共施設の他、門前協会も屋外設置を考えている。

問 多様化する事項への対応はどのように。水難事故の対応は着々と備えている。山難事故については、今後整えたい。

住民生活課 国保会計への町独自の繰出しは。法定外繰入れは、22年度から3年間2000万円ずつ行ってきた。国保会計の状況も厳しくなってきたので、26年度には保険料の見直し、繰入れについても検討しなければなら

平成26年第1回永平寺町議会定例会は、3月17日(月)～28日(金)まで12日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町教育委員会委員には、永平寺町東古市 宮崎義幸氏、永平寺町栃原 藤田みすず氏を任命同意、人権擁護委員候補者として、永平寺町京善 木村正徳氏の推薦に同意しました。また、永平寺町副町長には、永平寺町松岡葵 平野信二氏が選任同意されました。

議長 伊藤 博夫

第1回定例議会議案

議案第1号 平成25年度一般会計補正予算	可決	議案第15号 特定用途制限地域の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決
議案第2号 平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第16号 消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	可決
議案第3号 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	議案第17号 消防本部手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号 平成25年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第18号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第5号 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第19号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第6号 平成26年度一般会計予算	可決	議案第20号 町副町長の選任同意について	同意
議案第7号 平成26年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第8号 平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	請願第3号 フリーゲージトレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」[しらさぎ]の存続を 求める意見書採択のための請願について	不採択
議案第9号 平成26年度介護保険特別会計予算	可決	請願第4号 TPP交渉からの撤退を要求する請願について	不採択
議案第10号 平成26年度下水道事業特別会計予算	可決	陳情第1号 TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する要請について	採択
議案第11号 平成26年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	陳情第2号 新たな米政策に関する要請について	採択
議案第12号 平成26年度上水道事業会計予算	可決	発議第1号 TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書について	可決
議案第13号 社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について	可決	発議第2号 新たな米政策に関する意見書について	可決
議案第14号 上志比文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決		

議案への賛否一覧

議席順に掲載

(○賛成 ×反対 一欠席 □退席)

※議長(伊藤博夫)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	上田	酒井
議案第6号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	□	○
議案第7号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第10号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	○	○	×	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第3号	×	○	○	×	○	×	—	○	×	×	×	○	×	○	×
請願第4号	×	×	○	×	×	×	—	×	×	×	×	○	×	○	×
陳情第1号	○	○	□	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	□	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等16件については全員賛成です。

※議案の詳細は、上記定例議会議案をご覧ください。 ※川治議員は弔事のため欠席

住民票のコンビニ交
付は必要か。個人情報
漏えいが心配。

答 役場の交付機の更新に3500万円かかり、同額でコンビニ交付ができる。また、交付税の戻りもあり、カード普及にもつなげたい。

環境課

問 ごみ袋の価格は店によって異なるが、町からは指導していない。地域で偏っていないか。

答 町からは指導していない。地域で偏っていない。

福祉保健課

問 地域ケア会議で本町の課題である在宅の往診、入院の対応もない。対応を急いで。

答 有識者を入れ、今から検討していく。

子育て支援課

問 児童クラブへの入会を5・6年生も希望している。その対応は。

答 施設をどうするか考えている。空き教室もなく学校周辺で考えている。

学校教育課

問 部活動やスポーツの大会旅費は、全額補助すべきでは。

答 部活動については、県内大会は全額補助であるが、上の大会については補助要綱に沿って行っている。

問 給食費無償化の位置付けが必要。

答 給食運営委員会で協議していく。

問 英語教育の中学校と小学校の連携はできているのか。

答 小学校と中学校との連携はもとより、中学校区内の各小学校間の連携も行っている。

生涯学習課

問 図書館は正職員2名で3館を管理しているが。

答 司書が2名で少ない。嘱託職員で対応している。

農林課

問 県がメガファーム構想を発表したが、町の取り組みは。

答 米の適期田植、食味

向上、大粒化など昨年から取り組んでいる。

問 芝原用水の小水力発電はどこでどんなものを作るのか。

答 福井市中之郷と二ツ口との分岐地点で、31〜46kW、総額5億円のものを作る。

問 新規就農支援では、何人の方が就農しているのか。

答 昨年は轟地区で1名、本年は下合月で1名新規就農している。

商工観光課

問 えちぜん鉄道の高架化で、本町の負担は。

答 24年の試算では、総額153億円のうち、本町は1300万円程度の負担であった。現在は148億円で平成30年を目指している。

建設課

問 道の駅は、地域の活性化と地元商業への配慮を。

答 検討委員会で十分検討し、夏過ぎには計画を示したい。

26年度国民健康保険

問 保険料の滞納者に対し、短期資格証明を出しているが、1カ月は短すぎないか。

答 資格証明には、1カ月、3カ月、半年がある。納付状況を考慮しながら期間を決めている。

問 特定検診の連絡を保健師が引き続き行うのか。

答 受診率アップのために専門知識を持っている者が行うと効果がある。

26年度

介護保険特別会計

問 第6期介護保険計画の進捗状況は。

答 アンケートを分析中である。協議会に報告の時、議会にも示す。

問 包括支援の委託料の内容が膨らんでいる。以前は一般会計で行っていたものも含まれているが。

答 地域包括支援センターの強化と、介護予防の充実のため、増額させていたのだ。

消防関連条例案
2件可決

総務常任委員会

委員長 長谷川治人

本委員会は3月25日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され付託された案件について慎重に審議した。

○議案第16号 永平寺町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について
本案は、地方分権改革推進委員会の勧告をふまへ、消防組織法第15条が改正され、消防長および消防署長の資格は、平成26年4月1日以降、各市町村において条例で定める必要が生じた為制定するもの。

○議案第17号 永平寺町消防本部手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、消費税の税率の引上げ等に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正されたことにより、「永平寺町消防本部手数料徴収条例」の一部を改正するもの。
○請願第3号 フリーゲージトレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願

○行政報告 永平寺町駅舎竣工式および一般県道竹田東古市停車場線完成式について
期日 平成26年4月10日(木)午前10時30分
場所 永平寺町駅舎前

公共施設使用料の表示の変更

教育民生常任委員会

委員長 長岡千恵子

本委員会は3月26日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され付託された議案について慎重に審議した。

○議案第13号 永平寺町社会教育委員条例の一部を改正する条例について……………可決
社会教育法の改正で社会教育委員の委嘱の基準が町へ移されたことにより、町条例に委嘱の基準を追加した。

○議案第14号 永平寺町上志比文化会館条例の一部を改正する条例について……………可決
永平寺町上志比文化会館の使用料金表の但し書き「上記金額に消費税は含まれておりません。精算は消費税込み。」を削除。表示金額をこれまでの料金の支払い金額に変更した。



上志比文化館サンサンホール

特別委員会報告

『第2次行革実施計画』
進捗を審議

議会行財政改革特別委員会
委員長 川崎 直文

議会で、「第2次行政改革大綱実施計画(平成23〜27年度) 平成25年度進捗状況」の審議を行う。

1月20日に総務課より「第2次行政改革大綱実施計画 平成25年度進捗状況」の報告を受けた。

この「平成25年度進捗状況」の審議を次のスケジュールで行う。

①質問を行政へ提出
4月16日(水)

②特別委員会にて提出した質問により審議
5月2日(金)

③審議結果の申し入れ事項を行政へ提出、行政から回答
5月下旬

第2次永平寺町行政改革大綱実施計画 (平成23年度～平成27年度) 平成25年度進捗状況 永平寺町行政改革推進本部		項目		内容	
NO.	15	主要取組事項		公共施設の再編	
		実施の具体的内容	所管名	実施の具体的内容	所管名
		施設単位で明確に、公共施設の現状把握(毎年度)	施設管理課	各公共施設の現状把握及び問題点や課題の洗い出しを実施する。	施設管理課
		施設単位の管理状況の把握	施設管理課	各公共施設の現状把握及び問題点や課題の洗い出しを実施する。	施設管理課
		施設単位の管理状況の把握	施設管理課	各公共施設の現状把握及び問題点や課題の洗い出しを実施する。	施設管理課

条例改正、
区域変更及び町道認定

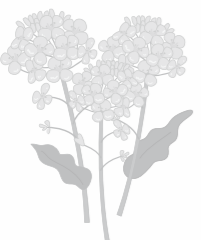
産業建設常任委員会

委員長 川治 孝行

当委員会は、3月27日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され付託された案件について、慎重に審議した。

○議案第15号 永平寺町特定用途制限地域の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について……………可決
町内の住環境保全の為に条例

○陳情第1号 TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する要請
TPP交渉の情報開示要請
○陳情第2号 新たなコメ政策に関する要請
採択
地域農業の継続拡大の要望
○継続審議(12月議会)請願4号 TPP交渉から撤退を要求する請願
不採択



議案への賛否討論

議案第6号 平成26年度一般会計予算

反対討論 金元 直栄

町民の暮らしに必要な予算があることは認めるが、①傷みのひどい永平寺開発センターのあり方と、その周辺の土地利用に改善が見られないこと。②滞納税の不納欠損処理の方向性が見えない。③本庁舎玄関の住民票等の自動交付機をなくし、コンビニ交付に頼る方向。④町の福祉施策や事業を安易に社協に委託せず、町が直接実施する方向が見えないこと。⑤温泉の営業後も、CAMU湯のあり方を示していない。他、児童クラブへ学校の空き教室の利用を認めないこと。PPPを見越したコメ政策の転換から、農業経営の先が見えないこと。河川公園や温泉も含め、町外の業者に管理を任せる等は認められないことから、この予算案には反対する。

賛成討論 川崎 直文

義務的経費、既存施設の維持管理費、継続費を設定している事業費の骨格予算として、審査した。

反対討論 上田 誠

今後、要支援(1・2)の介護保険からの分離による対応の不明確な点、また、地域包括支援センターの予算増額に対する根拠(方針や具体策に見合う)の不明瞭な点から26年度介護保険特別会計予算に対して反対の立場をとる。

議案第10・12号 平成26年度 下水道事業特別会計予算 下水道事業会計予算

反対討論 金元 直栄

上・下水道会計は、つまり内容でのやりくりと、町民の生活には欠かせない事業を途切れなく運営していることは評価するが、この4月から消費税の上乗せ3%が行われる。消費税のかからない分野がある中で、生活に欠かせない命の水にまで増税が課せられることは認められない。

委員長の審査報告に

①継続の「本庁舎耐震補強工事」「防災行政無線整備工事」の計画通りの実行
②「道の駅整備」については地域活性化、観光交流の目的を明確にし詳細設計の実施を加え、審査の結果は妥当と判断し、賛成する。

反対討論 上田 誠

本議案は福祉・教育、インフラ整備等住民生活の基礎となる予算で評価する点もあり基本的に反対するものでない。しかし、住民票等各種証明書のココンビニ交付システム開発費は他市町より先行し4320万円、高齢者対策には方針や具体策が示されないまま社協への補助や地域包括支援センターへの委託費など増額理由を明確にすべき。よって採決に際し加わることには出ない。

議案第7号 平成26年度 国民健康保険事業 特別会計予算

反対討論 金元 直栄

国保会計では基金もなくな

議案第15号 特定用途制限地域の 区域内における建築物の 制限に関する条例の制定

反対討論 金元 直栄

この条例は町内の建築物を制限するものだが、町独自の制限項目として、国の法にはない畜産農家の進出さえも認めない条例は認められない。

議案第17号 消防本部手数料徴収 条例の一部を改正する 条例の制定

反対討論 金元 直栄

貯蔵タンク等の設置の際の手数料を引き上げるといってものだが、この手数料には消費税がかかるわけでも、その分は集めても上納する必要もないことから、消費税の増税を口実に手数料の引き上げは認められない。

り、会計が厳しく近いうちに保険税の値上げが必要だといふのなら、一般会計からの支援を行うべきだ。
さらに、一般の70才以上の方の窓口負担が増えるのも問題で反対する。

賛成討論 長岡千恵子

平成26年度の国民健康保険事業特別会計では、基金を取り崩して予算に充当している。一般会計から繰り入れをしていない。苦しい会計ではあるが保持できる見込みであることから、本議案に賛成とする。

議案第8号 平成26年度 後期高齢者医療 特別会計予算

反対討論 金元 直栄

国ではこの差別医療制度を見直すとしていたが、それも行わず、さらに年金受給者にも差別を持ち込み、高額収入者として医療費負担を増やすなどは認められない。

賛成討論 長岡千恵子

少子高齢化に伴い、高齢者

請願第3号 フリーゲージトレイン (FGT)を導入せず、 特急「サンダーバード」 「しらさぎ」の存続を求める 意見書採択のための請願

賛成討論 金元 直栄

「新幹線」とさわぐが、京都、名古屋へのサンダーバードやしらさぎなど、県民の足をなくす。第3セクターの本町の負担のこともあるというのに、原発の再稼働を人質に、とにかく新幹線を引けというやり方こそ問題。
住民の足の確保に耳を貸すべきである。

反対討論 原田 武紀

フリーゲージトレインを導入せず、新幹線に、「しらさぎ」「サンダーバード」を残せということはある意味、敦賀以西については、もうフル規格での整備は要らないという意味にも取れる。
現在、県、経済界を挙げて若狭廻りで大阪までのフル規格での新幹線整備を国に要望している中では、この請願には賛成できない。

の人口が増加している。特に後期高齢者の医療費が増加している。後期高齢者の医療費を国民健康保険と区別して、一般会計から繰り入れを行い、会計の正常化が必要と考へることから、本議案に賛成とする。

議案第9号 平成26年度 介護保険特別会計予算

反対討論 金元 直栄

介護保険から、要支援1・2のかなりのサービス部分を除外し、町の支援事業に任せるとの方向を示した。これは介護保険制度の本質を変えてしまうものだ。

また、地域包括支援センターの運営委託に関し、この予算では改善の方向が示されていないことから、予算案には反対する。

賛成討論 長岡千恵子

介護保険会計は、すでに破たんに近い状況にある。要支援と要介護を分け、介護保険会計を維持することから、本議案に賛成とする。

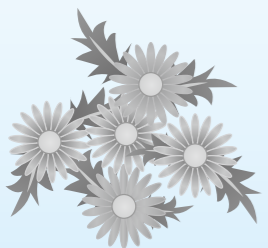
請願第4号 PPP交渉からの 撤退を要求する請願

賛成討論 金元 直栄

PPP交渉では、自民党の対策本部でも、主要5品目の譲歩もやむなしと言っている。これは公約違反だ。国益になするPPP交渉からは撤退すべきを、それは過去のことと不採択は認められない。

反対討論 小畑 傳

今、PPP交渉が行われているなかでの撤退は現実的ではない。
今回、陳情第1号でPPP交渉に関する要請が新たに提出されたことにより、この請願は意味をなさなくなったと考へる。よって請願第4号の不採択にすべきである。



そこが聞きたい!

問&答

一般質問

14名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



齋藤 則男 議員

問 「チーム永平寺町役場」とは

答 積極的に課題に取り組む組織づくり

問 町の主役は町民である。役場内の職員が生き生きとして、町民のために働くという意識を持ち、常に町民の目線で仕事をすることは基本的なことであり、そして大変重要なことである。チーム永平寺町役場の構想は。

町長 役場は職員、上司のための職場ではなく、町民のための役場であり、町民が安心して暮らせる舞台づくりをするための組織である。また、職員にとって、町民の笑顔が仕事をすることの楽しみや喜びとなるような環境をつくり、若手職員からの意見もどんどん聞きながら自由に意見や考えを交換でき、町民の立場に立って物を考え、

助け合いながら新たな視点から課題を捉え、積極的に解決に取り組んでいくことができる組織づくりをしつかりつくることだが、チーム永平寺町役場の実現につながるものと考えている。

答 教育方針のキーワードは4つ

問 平成26年度に向けた教育方針は

問 平成26年度に向けた永平寺町の子どもたちを支えるための教育方針はどのような方針か。

教育長 今年度の教育方針のキーワードとして4つ。1つは、心の注入、心の教育を重視していきたいということ。2つ目は、行動力の育成に努めていきたいということ。3つ目は、活力的な集団づくりを目指していきたい。

【その他の質問】
「技術系の職員の採用について」「平成26年度の福祉施策は何か」



本庁役場

視察レポート

平成26年
1月28日(火)・29日(水)

歴史的遺産を生かした街づくり

視察先 兵庫県太子町 参加人員 14人
目的 街づくり

歴史的遺産を生かし、観光や特産物が発信できるまちづくり。



斑鳩寺



取り組み

- ①斑鳩寺や鶴荘荘園遺跡などの条里制の名残をとどめる風景など、数多くの歴史的遺産が残っている。その一方で、宅地開発等により歴史的景観が急速に変化。地域での歴史的風習や文化、民俗も失われつつある。
- ②特産品が開発販売されているが、恒久的な直売所が無く、直売所の確保が必要。
- ③新庁舎を核とした「交流拠点」形成が必要。斑鳩寺を中心とした「歴史拠点」・ふるさと文化村を中心にした「文化拠点」一体的に魅力を生かしたまちづくりが求められている。
- ④住民意見で「公園や広場の整備」が求められている。安心・安全で自由にいつでも使える住民交流スペースが求められている。
- ⑤交流拠点、歴史拠点、文化拠点をネットワークした太子の「都市拠点」を形成するために、総合的なまちづくり施策を一体的に展開する。



求められる認知症の予防と対応

視察先 三重県いなべ市 参加人員 14人
目的 認知症の予防と対策
認知症予防の具体的な進め方。



取り組み

○第一次予防事業

- ①園芸作業を中心に、仲間づくりや生きがいづくり青空デイサービス事業
- ②筋力アップ教室に参加してみよう
- ③地区の料理教室に参加してみよう男性料理教室
- ④地域のふれあいサロンやミニサロンに参加しよう出前講座・普及啓発
- ⑤趣味のサークルや講座に参加しよう

○基本チェックリストは心身の状態を確認するアンケートで毎年5月下旬に65歳以上の人を対象に実施。7月中旬に結果アドバイス票を送付。

○二次予防事業

- ①脳を活性化するのはつつ教室・足腰を鍛えるはつつ教室の2種類の予防事業を展開
- ②チェックリストの結果「要支援・要介護状態になるおそれが高い方」は、二次予防事業対象者

として、教室への参加を促す。
③チェックリストの提出が無い場合は、必要に応じて生活状況の把握を行う。お達者訪問。

○認知症サポーター養成講座の開催

講座開催先は、市役所、社協、民生委員、老人クラブ、小・中学校、PTA、イオン、介護サービス事業所、病院など。年間養成目標500人

○認知症の人との関わり方。具体的なポイント

- ①まずは見守る
- ②余裕をもって対応する。
- ③声をかける時は一人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤目線を合わせて、優しい口調で
- ⑥おだやかに、はっきりとした滑舌で
- ⑦相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応

(長岡 記)

問 保育所民営化は早急に検討すべき

答 保護者等の意見を聞き検討したい



原田 武紀 議員

問 一、子育てに関する保護者のニーズは多様で、公立保育所が民間かを選択できることが求められているが、本町では、それができない。二、平成16年度から公立保育所への国・県の補助が廃止となり、その後、民間保育所へは児童福祉法による「保育所運営費国庫負担金」制度が確立されたため、県内を初め全国の多くの市町村が、

答 公立保育所の民営化を段階的に進めている。以上の理由から保育所の民営化は早急に検討すべきと考えている。本町では、幼保連携の民営化は行財政改革だけではなく、正職員の比率、保護者のニーズ、延長保育、土日保育等のさまざまな問題解決策の一案として、議会を初め保護者等の意見を聞き今後検討したい。

近隣市の保育所の民営化の取り組み目標

市	目標達成年度	総園数	公立	私立
福井市	平成28年度	80園	28園	52園(園児の73%)
坂井市	平成30年度	35園	17園	18園(園児の50%)
勝山市	平成27年4月	5園	2園	3園(園児の80%)

問 「下水道基本構想」の中に、老朽化が著しい志比浄化センターの設備更新には約1.7億円必要で、中央浄化センターへの統合費約1億円と比較すると統合の方が安価である。さらに、処理場の集約化で維持管理費が年間約2.5千万円削減できるとある。投資効果のあるのかも町民生活に直結するインフラ整備事業は急ぐべきと考えるがいかがか。

答 志比浄化センターは、昭和55年4月の供用開始で34年を経過、老朽化が著しく中央浄化センターとの統合を計画している。そのため平成26年度に統合事業を要望、順調に進めば翌年に事業の全体計画及び事業変更認可申請の関係書類を作成、28年度事業変更認可申請、最遅で29年度工事施工の予定である。また、国交省の社会資本整備総合交付金事業で補助率は事業費の1/2である。

問 委託事業の情報の共有は

答 迅速に情報把握・政策展開



長岡千恵子 議員

問 高齢者の情報を町が把握して、公的機関として手を差し伸べるべき状況をリアルタイムで把握しているか。

答 福祉保健課長 地域包括支援センターからの情報提供や配食サービス等で情報を得て、素早く対応している。



地域包括支援センター

問 高齢者の情報を町が把握して、公的機関として手を差し伸べるべき状況をリアルタイムで把握しているか。

答 センターを役場直営にできないのか。

町長 福祉についてはリアルタイムで情報を把握し、政策の展開は必要。役場が福祉全体を把握できる仕組み作りに取り組みたい。

問 庁内の機構改革が必要では

答 横断的な柔軟に機能する組織再編

問 新町長の庁内の機構改革についての考えは。

町長 効率よく人員を配置して多様な行政ニーズにスピード感をもって対応する。横断的な柔軟に機能する組織の再編を図る。

答 処するためには機構改革は必要。次の議会に、条例改正等の手続きを行い、横断的な柔軟に機能する組織の再編を図る。

問 今後の農業振興策はどうする

答 人・農地プランで農地集積支援を



小畑 傅 議員

問 国の農業の大幅な政策転換が示された中、今町内農振地区ではどの地区でも、後継者がいない大きな悩みと不安を抱えている。いわゆる10年後・20年後の農業のあり方、展望が開けないことで大変危惧している。町の農業振興策を聞きたい。

農林課長 国の施策では人・農地プランに基づき、平成26年度に設置される農地中間管理機構による農地集積が進められる予定である。町も委託を受け農地の維持保全や長寿命化に務め、農地集積を支援したい。

問 平均年齢が60歳を越える担い手農家の現状は若手農業者の育成を行ってこなかった。反省も含め人づくり事業をどう行うのか。さらに零細(二種兼業)農家にも温かい手が必要で、それによって耕作放棄地が減ると予想されるが。

農林課長 昨年より新規就農を促進する青年就農給付金で、昨年・今年と新たに農業に取り組みの方々を支援している。

問 米の単作や二種兼業農家が大多数のなか、農地中間管理機構はどのように



永平寺 山門

問 国体は現状のまま進行するのか

答 必要最小限の経費で最大の効果

問 本町での国体に費やす費用が数億円と聞いている。現条件のまま進めるのか。この費用を工夫と努力で軽減できないのか。例えば、バスケットボールとハンドボールは同じ会場で開催できないか。

生涯学習課長 3競技の受入れは変更ない。会場選定は平成23年から取り組

答 み決定した。平成24年には会場の視察もあった。本格的な準備を進めている。効率的・効果的な大会運営を目指し、必要最小限の経費で最大の効果が出るようにしたい。会場選定については多大な時間と労力をかけてきた。各協会と協議しながら慎重に対応したい。

問 大本山の観光客減少誘客施策は

答 禅・川に的を当て情報発進する

問 大本山永平寺、ここ何年も観光客が減っている。新聞報道では福井にいた外国の方が、福井には誇るべき場所や食が沢山あり、もっと強調してはと発言している。

町長 本町は禅と言う文化が根づいた聖地である。

答 このブランドを日本や世界にどう発信するか課題である。さらに九頭龍川を含め、絞った、新たな形のブランド発信が必要と考

問 投資効果のある事業は、優先すべき

答 志比浄化センター 統合事業を計画

問 「下水道基本構想」の中に、老朽化が著しい志比浄化センターの設備更新には約1.7億円必要で、中央浄化センターへの統合費約1億円と比較すると統合の方が安価である。さらに、処理場の集約化で維持管理費が年間約2.5千万円削減できるとある。投資効果のあるのかも町民生活に直結するインフラ整備事業は急ぐべきと考えるがいかがか。

問 人口減少を止める方策は

答 婦人福祉協で交流イベント実施



酒井 要 議員

問 私は人口減少に心を痛めている。近年長男が結婚すると県外他市町で生活する方が多くなっている。私の集落で7組ある。結婚適齢期に達成している男性が5人いるが女性との出会いがないとのこと。以前は嫁の世話をする人が多かった。この問題は永平寺町全体にあると思うが。

答 婦人福祉協で交流イベントを実施し、5年間で20回出会う

町長 本日に若者の出会いが難しい。趣味の多様化、仕事の時間の調整、そういった中で出会い事業というのは常に進化させ、こういった媒体を使えば集まってくるか検討していかないとけない



町長 本日に若者の出会いが難しい。趣味の多様化、仕事の時間の調整、そういった中で出会い事業というのは常に進化させ、こういった媒体を使えば集まってくるか検討していかないとけない

商工観光課長 町内の歴史的文化的な資源や自然環境を広域的に結びつけ、永平寺ブランド化につなげたい。



永平寺産業フェア

問 選挙投票箇所の見直しは

答 課題に検討の余地あり

問 例) 光明寺地区の選挙投票所は志比幼稚園。お年寄りには本場に遠く若い者に頼まないといけない。せめて体協の区

答 割りの様に花谷・光明寺で1ヶ所出来ないか。高齢者に優しい政治をお願いする。

総務課長心得 投票所によって様々な課題がある中で、今後、町全域で設置状況の均衡や公平性を図りスロープの設置やバリアフリー化など、投票しやすい環境づくりは重要であるが、選挙に関心を持っていただく方策も併行して実施していきたい。

問 防災行政無線の難聴区域解消を

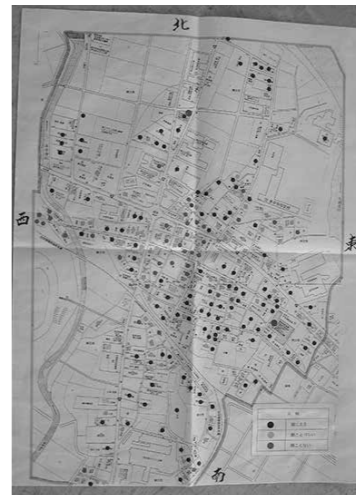
答 戸別受信機の地区申請検討する



長谷川治人 議員

問 東古市区民アンケート調査結果、回収率93.1% (249世帯の内232世帯回収)。内訳は、聞こえる121世帯

帯の52%、聞こえづらい71世帯の31%、聞こえない40世帯の17%。難聴解消には自主防災組織連絡協議会資機材購入補助事業で戸別受信機の設置を促進しているが、地区単位での申請は可能か。



東古市区防災無線調査結果

問 福祉バス(永寿苑送迎)の利便を

答 最良ルートで対処

問 例) 山・東諏訪間の永寿苑の送迎バスについて、お年寄りや身体の不自由な方が利用し易いように、ルートの確立や停

車場の検討を。
福祉保健課長 利用者や地域の方のご意見を聞き利便性の一番良いルートで運行を考えたい。

問 永平寺ブランド発信はどのように

答 新しい形でブランドを発信する



川治 孝行 議員

問 ブランドを創るとは何か。ブランドの要件とは品質が高く維持され高い評価を得る事だが、町内の資源をどのようにブランド化するのか。

町長 有料化される時には永平寺ジャンクションとなるよう働きかける。

商工観光課長 ブランド戦略として消費者から高評価が得られる商品や観光資源を創出、発掘し地域の発展につなげたい。

町長 永平寺町の禅の文化、九頭竜川等のブランドを新しい形で発信したい。

問 福井北ジャンクションの名称は、永平寺ブランド発信の窓口になるが今後の対応は。

建設課長 中部縦貫自動車道が全線供用開始しジャンクションの要件を満たすとき、適正化委員会に今後働きかける。



松川 正樹 議員

問 新たな永平寺ブランド発信とは

答 町外に発信し、付加価値を高める

問 新たに町のブランドを発信する協議会を作るとしているが、松本町政下のそれとどう異なるのか。そもそもブランドとは何かだけでも重要な課題だ。協議会のメンバー

答 無償化は継続するが、町の負担が過大にならないよう協議会で検討したいとしている。1年前、議会は、異例の付帯決議と意見書を付けた。その内容も吟味すべきだ。時間を戻してほし

町長 継続は実施するが、議会の意向も尊重する。1年の経過で振り返り広く町民の意見を聞くということ。もう一度無償化の議論をしていく。

には志の高い方の参加を期待する。専門家の投入も必須だ。

町長 今までのブランド発信は産業フェアを中心とした町内向けで、新しいものを作ろうとしていたが、すでにある永平寺町のブランドを町外に発信し、町内への誘客や商品や産物の付加価値に上げるのが、私の新しいブランド発信だ。各種団体からエキスパートに参加してもらう。

問 学校給食の協議会を創るが

答 もう二度無償化の議論をする

問 幼稚園の一部民営化は課題解決の二つの案を検討すると受け止めて

町長 継続は実施するが、議会の意向も尊重する。1年の経過で振り返り広く町民の意見を聞くということ。もう一度無償化の議論をしていく。

問 幼稚園の一部民営化ですか

町長 継続は実施するが、議会の意向も尊重する。1年の経過で振り返り広く町民の意見を聞くということ。もう一度無償化の議論をしていく。

問 永平寺街道の道路照明を早急に

答 地域住民と話し合い進める

問 機能補償道路開通で、永平寺列島南側の上志比地区から谷口区間は、見違えるほど、地域が発展したように伺える。

町長 町が責任を持ち、合併時、町民の末永い幸せを願い、町名を永平寺さんの名をいただき、当町ブランドを国内外に発信するとの構想だったが、近年の高速道路体制と、自然豊かで歴史的文化遺産の町と寄りかかっているのではなく、毎年新しい年を迎え打つ、大



多田 憲治 議員

町長 永平寺線廃線条件として、レンガ館保存を含めた

町長 永平寺線廃線条件として、レンガ館保存を含めた

町長 永平寺線廃線条件として、レンガ館保存を含めた



道路照明のない永平寺街道（荒谷地係）

問 町民が町の主役となる仕組みとは

答 公民館単位に振興会ををる

問 町民が主役とは自ら生活や地域の課題を見つけ、解決に向けた活動を行政と一緒に進めることである。それには公民館

町長 各小学校区に振興会を設置し、課題解決に向け町民主導で企画し実践してもらう。人材や財政面でも支援する。

町長 各小学校区に振興会を設置し、課題解決に向け町民主導で企画し実践してもらう。人材や財政面でも支援する。

町長 各小学校区に振興会を設置し、課題解決に向け町民主導で企画し実践してもらう。人材や財政面でも支援する。



上田 誠 議員

問 就学援助の周知充実で利便性を

答 就学時に周知し、学期毎に対応

問 当制度は通学を保障するもので保護者への経済的な支援である。就学前の対応はできないか。

町長 現在就学後、学期毎の対応をお願いしている。



松岡小学校

【その他の質問】
「町民の健康づくり」

いる。10の幼稚園のうち1つ程度をとのことか。民営化のメリットもあるだろうが、関係者は戸惑っている。民営化で施設は新設するのか。新設でなければどの幼稚園なのか。いずれにしても、なぜ民営化なのかというこ

町長 民営化するかどうかは課題解決に向けた検討課題の一つだ。すべての園を民営化することは考えていない。行財政改革における公共施設の再編ではなく、正職員の比率、保護者のニーズ、特

町長 民営化するかどうかは課題解決に向けた検討課題の一つだ。すべての園を民営化することは考えていない。行財政改革における公共施設の再編ではなく、正職員の比率、保護者のニーズ、特

町長 民営化するかどうかは課題解決に向けた検討課題の一つだ。すべての園を民営化することは考えていない。行財政改革における公共施設の再編ではなく、正職員の比率、保護者のニーズ、特

問 フリーで働ける主任保育士が必要

答 財政面も考慮して今後検討する

問 子育ての充実には保育環境の充実がある。特に保育士の正職の割合、法的な人員で足りているだけでなく実状に合わせたフリーで働ける人材が充実には必要と考える。

町長 伸び伸びとした環境で園生活できるよう課題に向け財政面も考慮し慎重に対応する。

問 地域包括ケアの構築が最重要課題

答 町が責任を持ち機能強化を図る

問 政策に「孤独を感じさせない福祉のまち」がある。今後は高齢者の多方面でのケアが重要となる。町が支援センターの方針、具体策を示し機能強化を図るべき。

町長 町が責任を持ち、合併時、町民の末永い幸せを願い、町名を永平寺さんの名をいただき、当町ブランドを国内外に発信するとの構想だったが、近年の高速道路体制と、自然豊かで歴史的

問 小・中学校のエアコン設置を急げ

答 27年度に事業着手



滝波登喜男議員

問 2月26日午後、PM2.5の観測値が基準値を超え、県が市町に注意喚起を出した。子供たちへの影響はなかったのか。また、5、6月がピークとなり、暑い時期に閉め切った教室での授業となる。早期にエアコンを設置することを要望する。

学校教育課長 今回は特別の影響はなかった。すべての教室にエアコンを設



PM2.5などでかすむ空

問 2つの大学を中心に若者が集う町において、インターネット環境が他市町と遅れていることは問題で、早期改善を求めたい。

商工観光課長 こしの国ケーブルが、光ファイバー利用で通信速度100Mbpsで提供している。

町長 人が集まる場所Wi-Fiを整備し、電波を飛ばせる。そういったことも考えていきたい。

問 遅れている ネット環境の改善を

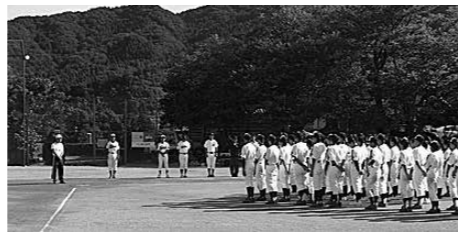
答 こしの国ケーブルの事業見直しが必要

町長 公約の一つに奨学金制度の創設を掲げていたが、具体的な構想は。

問 奨学金制度の具体案は

答 研究して事業化したい

町長 高校、大学生を対象に、月3万円を上限に年30人程度を貸し出すと、3億円の財源が必要になる。あるいは利子補給をするやり方もある。また、Uターンしたら何か減免をすることも考えたい。もう少し研究して事業化したい。



中学校野球部の大会

問 中学校の部活動の状況は。充実した部活動を続けるにはどうするか。

学校教育課長 各中学校の運動部、文化部は、松岡中は9、3部、永平寺中は、2つの運動部が休

答 地域のスポ少、合併部活を推進
問 少子化で小学校児童のスポーツ少年団(スポ少)の状況は。休部にどう対応するのか。
生涯学習課長 スポ少の数は、平成23年に19、24

問 新しい町ホームページの運用は

答 わかりやすく検索しやすいHPに

ホームページ



川崎 直文 議員

問 町の公式ホームページが更新、リニューアルされた。どのように更新したか。

商工観光課長 行政改革大綱計画に基づき、各課の改善要望等を踏まえ3月12日にクラウド型でリニューアルした。まだ全国瞬時警報、防災行政無線システムとの連携ができていない。早期に対応する。

問 今回の更新で、町のオープンデータが登録された。今後の計画は。

商工観光課長 防災情報、公共施設の情報を公開した。今後、防災、防犯の未公開のデータ、ごみの収集場所等の生活基盤、観光に関するデータを公開する。

問 少子化でスポ少、部活はどう対応

答 少子化で小学校児童のスポーツ少年団(スポ少)の状況は。休部にどう対応するのか。
生涯学習課長 スポ少の数は、平成23年に19、24

問 新町長は町民の立場からの宣言を

答 私の信念に基づき町民目線に立つ



金元 直栄 議員

問 新町長の新聞報道は、奨学金制度や地域包括支援センターの委託の在り方等、幾つかの点で

目を引いた。そこで示された内容は、いわゆる自民党本流とは異なる町政運営は、町民目線であると宣言すべきだ。
町長 政治家は政治信条をそれぞれ持っている。国と地方の考え方も違う。私は信念に基づき町民目線に立つて政治を行い町民のための政策を進める。

問 公約にもないことを口にするのか 幼稚園の民営化は許されない

答 公共施設の見直しの取材の中の二つの方向

問 「幼稚園の民営化」は、安心できる子育てとは矛盾する。町長の公約にもなく、これへの反応の大きさは町長も感じていないと思う。また、国の新保育制度とはどういうものか。
子育て支援課長 27年からの新子育て制度に伴い、システム改修を始める。

問 民営化は、地域性や保育の内容、町や家庭の負担、何より安心・安全が最大の課題だ。
問 子育ては町が責任を持つ。は、安心の要だ。国は株式会社社の参入を認め、設置基準や保育士の資格要件さえ低くした。

問 昨年は介護保険が大きく変わることが報じられた。制度の見直しでの心配は、議会などに指摘し続けてきた。要支援者が今の施設でサービスを受けられるか等、国から示される前に関係団体や機関と協議を始め、準備をすべきだ。町には保健師等もいる。

問 介護保険から要支援外しへ町の早い対応を

答 第6期介護保険計画作りを早く進める

福祉保健課長 法改正で要支援者の訪問や通所介護は、29年度末までに地域支援事業に移行するが、専門的なサービスもあり、単価の引き下げは難しい点もある。町の第6次介護保険計画を早急に進め、関係機関と意見交換も考えていく。

時	5月12日(月)	5月13日(火)	5月14日(水)	時
7	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会(1日目②)	00 予算決算常任委員会(3日目④)	7
8	53 文字告知放送	33 文字告知放送	15 文字告知放送	8
9	00 一般質問(1日目①) 齋藤則男議員 長岡千恵子議員 小畑博議員	00 予算決算常任委員会(2日目①)	00 本会議	9
10	42 文字告知放送	11 文字告知放送		10
11	00 一般質問(1日目②) 原田武紀議員 長谷川治人議員	00 予算決算常任委員会(2日目②)	01 文字告知放送	11
12	11 文字告知放送	38 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	12
13	00 一般質問(1日目③) 59 川治孝行議員 酒井要議員	00 予算決算常任委員会(2日目③)	53 文字告知放送	13
14	00 一般質問(1日目④) 松川正樹議員 多田憲治議員	47 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 齋藤則男議員 長岡千恵子議員 小畑博議員	14
15	07 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(2日目④)	42 文字告知放送	15
16	00 一般質問(2日目①) 上田誠議員 川崎直文議員		00 一般質問(1日目②) 原田武紀議員 長谷川治人議員	16
17	54 文字告知放送	18 文字告知放送	11 文字告知放送	17
18	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員	00 予算決算常任委員会(3日目①)	00 一般質問(1日目③) 59 川治孝行議員 酒井要議員	18
19	23 文字告知放送	28 文字告知放送	00 一般質問(1日目④) 松川正樹議員 多田憲治議員	19
20	00 一般質問(2日目③) 49 滝波登喜男議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会(3日目②)	07 文字告知放送	20
21	00 予算決算常任委員会(1日目①)	24 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 上田誠議員 川崎直文議員	21
22	19 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(3日目③)	54 文字告知放送	22
23		25 文字告知放送		23

■放送期間
2014年
5月12日(月)~
5月18日(日)

時	5月15日(木)	5月16日(金)	5月17日(土)	5月18日(日)	時
7	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員	00 予算決算常任委員会(3日目①)	00 一般質問(1日目③) 59 川治孝行議員 酒井要議員	00 予算決算常任委員会(2日目③)	7
8	23 文字告知放送	28 文字告知放送	00 一般質問(1日目④) 松川正樹議員 多田憲治議員	47 文字告知放送	8
9	00 一般質問(2日目③) 49 滝波登喜男議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会(3日目②)	07 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(2日目④)	9
10	00 予算決算常任委員会(1日目①)	24 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 上田誠議員 川崎直文議員		10
11	19 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(3日目③)	54 文字告知放送	18 文字告知放送	11
12	00 予算決算常任委員会(1日目②)	25 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員	00 予算決算常任委員会(3日目①)	12
13	33 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(3日目④)	23 文字告知放送	28 文字告知放送	13
14	00 予算決算常任委員会(2日目①)	15 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 49 滝波登喜男議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会(3日目②)	14
15	11 文字告知放送	00 本会議	00 予算決算常任委員会(1日目①)	24 文字告知放送	15
16	00 予算決算常任委員会(2日目②)		19 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(3日目③)	16
17	38 文字告知放送	01 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(1日目②)	25 文字告知放送	17
18	00 予算決算常任委員会(2日目③)	00 町長招集あいさつ	33 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(3日目④)	18
19	47 文字告知放送	53 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(2日目①)	15 文字告知放送	19
20	00 予算決算常任委員会(2日目④) 齋藤則男議員 長岡千恵子議員 小畑博議員	00 一般質問(1日目①) 齋藤則男議員 長岡千恵子議員 小畑博議員	11 文字告知放送	00 本会議	20
21		42 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(2日目②)		21
22	18 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 原田武紀議員 長谷川治人議員	38 文字告知放送	01 文字告知放送	22
23		11 文字告知放送			23

問 町長の発言は重いはず 深く考えて

答 発言には責任を持っている

問 2日間の一般質問において、町長の答弁の中、一見格好よく、リアルタイムの言葉を何度も使用したが、具体的な施策実施になると心配と疑問を感じた。質問者は実態も調査しないで質問していた「安心カード」の件、24年6月議会で「全家庭に安心カードの配布を、地域コミュニティのアップで安心・安全の地域力を増すべきだ」の主意で質問し翌年4月から町から社協への委託で実施となった。その当時は、町長も議員で在籍していた。事故や急病に対し情報を確保し、迅速対応できるための施策、手段であった。

町長当選後、翌日の新聞で「福祉政策で、地域

問 2日間の一般質問において、町長の答弁の中、一見格好よく、リアルタイムの言葉を何度も使用したが、具体的な施策実施になると心配と疑問を感じた。質問者は実態も調査しないで質問していた「安心カード」の件、24年6月議会で「全家庭に安心カードの配布を、地域コミュニティのアップで安心・安全の地域力を増すべきだ」の主意で質問し翌年4月から町から社協への委託で実施となった。その当時は、町長も議員で在籍していた。事故や急病に対し情報を確保し、迅速対応できるための施策、手段であった。

町長 しっかりと発言には気をつけて、責任を持って、しっかりと勉強しながら行っていかねばいけないという、そういった気持ちでいます。地域包括支援センターの件についても、今のシステムが役場の果たすべき役割としての見地からの発言であり、リアルタイムに役場が情報を入力し、様々な政策反映、福祉サービス向上に繋げて行きたい。

答 一議員と異なり、発言の重さは、職員の付度、町民の町政理解に影響を与える。より慎重な発言を求め、発言責任の自覚と十分なヒヤリング、断固たる遂行を願う。

町長 しっかりと発言には気をつけて、責任を持って、しっかりと勉強しながら行っていかねばいけないという、そういった気持ちでいます。地域包括支援センターの件についても、今のシステムが役場の果たすべき役割としての見地からの発言であり、リアルタイムに役場が情報を入力し、様々な政策反映、福祉サービス向上に繋げて行きたい。



上坂 久則 議員

包括支援センターの委託のあり方を見直したい」との深考しないうでの発言が掲載されていた。県の健康増進課へ評価を問い合わせたところ、県内でも評価は高いとのことであった。目的や大事な骨子を理解して発言すべきだ。

一議員と異なり、発言の重さは、職員の付度、町民の町政理解に影響を与える。より慎重な発言を求め、発言責任の自覚と十分なヒヤリング、断固たる遂行を願う。

町長 しっかりと発言には気をつけて、責任を持って、しっかりと勉強しながら行っていかねばいけないという、そういった気持ちでいます。地域包括支援センターの件についても、今のシステムが役場の果たすべき役割としての見地からの発言であり、リアルタイムに役場が情報を入力し、様々な政策反映、福祉サービス向上に繋げて行きたい。

議会・各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 △：遅刻 早退 ー：具外 傍：傍聴 申：申事 研：研修
(平成25年12月24日～平成26年3月28日)

日付	開催委員会等	小畑博	滝波登喜男	金元直栄	齋藤則男	長岡千恵子	原田武紀	川治孝行	川崎直文	多田憲治	上坂久則	長谷川治人	松川正樹	渡邊善春	上田誠	酒井要	伊藤博夫
12月24日	教育民生常任委員会	傍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月6日	議会広報特別委員会	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月9日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月10日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月14日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1月20日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月20日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
2月3日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月7日	教育民生常任委員会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月27日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月12日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月13日	全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月18日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月19日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月19日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月20日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月20日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月20日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月24日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月25日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月25日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月26日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月27日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月28日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月28日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	18.5	18.5	17	15	24	18	19	22	18	13	19	24	19	17	15	14
	会議回数	19	20	17	15	24	18	20	22	18	14	22	24	19	17	15	14
	出席率	97%	93%	100%	100%	100%	100%	95%	100%	100%	93%	86%	100%	100%	100%	100%	100%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様へ議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

今回のご紹介は「地域ふれあい支援 かさじぞう」です。最近ケーブルでも吉野小学校での活動の様子が放映されました。タイミングよく見られた方はきっとびっくりされたことでしょう。こんな紙芝居ってありなんだ！高次元というか、普通の紙芝居の次元を超えています。一人で演じる昔からの紙芝居も郷愁を誘う見事なものですが、「かさじぞう」は電子オルガンで音楽的効果音を出し、朗読も何名かで分担しています。さらに、うちわやカップなど、家によくある小道具や、ラッパ、カスタネット、すすなどの簡単な楽器を駆使し、効果音を出している。拍子木の音も久しぶりに心地よく聞きました。さらに秀逸は全員で歌われる若々しい澄んだ歌声です。やさしい歌ですので、思わず一緒に口ずさみたくなります。この多次元なパフォーマンスとでも言うべき紙芝居は、とにかく完全なプロの域です。

だから、はじめて出会ったときは随分と長い間の練習の賜物だろうなあと感じましたが、実は、まだ5年前、小学校の読み聞かせボランティア募集でたまたま集まった5人のメンバーが読み聞かせだけでは満足せず今日に至ったとのこと。今は週一回、代表の吉川美香さん宅（松岡春日2丁目）で練習に集う10人の仲間に倍増しました。

公演は、学校に限らず障害を持つ方々や、高齢者とのふれあいを求めて、どこへでも出かけて行きます。

本当にたくさんのお話を伺いましたが、とりわけ感動したのは仲間の一人、真美ちゃんという障害を持った女の子のお話です。



活動を通じて変わっていく元気になっていく様子が鮮やかで、周りの大人にも元気を与えているとのこと、また、大人の仲間同士も、パフォーマンスを通じてエネルギーをもらい合っていることを実感している。人は本当に支え合っている、育て合っていることに気づかせてもらっているとの話にもうなずかされました。この輪を広げたい、地域の架け橋になりたい、こんな気持ちが彼女たちを突き動かしています。

しかし、現状に課題もあります。一つは経済的課題です。一種の企業化をしないと長続きしないと気付いています。次なるステージは、障がい者のための就労作業所に何とかつなげたい…。そこで、地元の県大3号なる小麦を使って、ピザやクッキーを開発していきたいと夢は具体的です。

それにしても彼女たちは紛れもないアーティスト集団です。芸術家が今後どうさらなる変身していくか目が離せません。

「がんばれ、がんばれ、
か・さ・じ・ぞ・う！」
(松川 記)

編集者のひと言

早いもので今回いただいた任期も終わろうとしています。副議長が編集委員長を兼ねる形になってから2年、7回目の議会だより発行となりました。このメンバーでは最後の号になります。

今思えば少しでも住民の方々の関心を寄せてもらえるため、真剣にケンケンガクガクの編集会議の日もありました。人間関係が悪くなるのではないかと不安になった時もあります。それでも、住民の方々から議会だよりを読んだよと声がかかることだけを頼りに頑張ってきました。最終ゴールが見えにくい作業ですが、これからも、ずうっと議会だよりは続きます。徐々にでも読みやすくなっているのではと自画自賛させて下さい。次の新しいメンバーにも、ごうご期待です。長い間ありがとうございました。(渡邊 記)

議会
発行責任者 長 伊藤博夫
議長 長谷川治人
副議長 川治孝行・川崎直文
委員 小畑博・長岡千恵子
副委員長 松川正樹
委員 渡邊善春